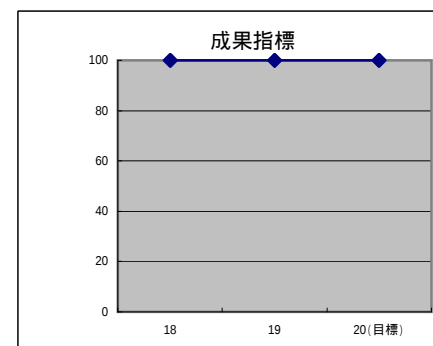
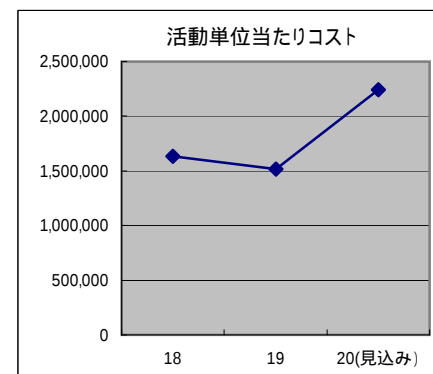


事務事業名		公立保育所施設管理事業		予算科目	会計	1	一般会計	
					款	3	民生費	
					項	2	児童福祉費	
					目	6	保育所費	
					事業	1	保育施設管理	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	3	次代を担う子どもを育むまち	作成部署				保健福祉部子育て支援課
	施策(節)	1	子育て支援	連絡先				072 - 958 - 1111 内線 1220
	施策の方向	(6)	保育の充実					
関連する計画等								
事業の目的	対象(誰を・何を)							
	公立保育園							
	意図(どういう状態にしたいのか)							
事業の内容	安全に使用できるように管理運営を行う。							
	保育園の園舎の修繕、点検、清掃等の保守管理や、警備等により維持管理を行う。							
根拠法令等		消防法等に基づく						
事業開始時期		☒ 昭和 ☐ 平成 32 年 月開始 ☐ 明確にはわからない				終了年度	平成 年度	
事業開始時からの状況変化		老朽からの雨漏りや排水関係、電気関係の修理が年々ふえる傾向にある。また、児童事件への対応としての安全対策が高まっている。						
市民や議会の要望		安全対策のための修繕施工						
実施手法		☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先		☒ 外郭団体委託	名称	シルバー人材センター	委託内容			保育室の修繕等
		☒ 民間委託						

区 分		18年度	19年度	20年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		36,459	40,242	48,213
人件費【2】 (千円)		2,700	5,220	3,360
職員数	正規職員	0.30 人	0.60 人	0.40 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.10 人	0.10 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		39,159	45,462	51,573
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	39,159	45,462	51,573
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		18年度	19年度	20年度(目標)
修繕箇所数 箇所		24	30	23
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】)		1,631,625 円	1,515,400 円	2,242,304 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		325 円	379 円	430 円



成果指標	指標名		指標設定の考え方		平成18年度	平成19年度	平成20年度
	式)	安全確保率(%)	重大な事故がないように点検をすることで事故を防ぎ安全が保たれる。		100	100	達成率(%)
		安全日÷開園日×100			100	100	100.0%
	式)						達成率(%)

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	児童の健全なる心身の発達、児童が安全な園生活を過ごすためには必要不可欠
○				○							

視点	分析のためのチェック点			分析・評価の説明		
	はい	いいえ	該当なし			
妥当性	市民ニーズが高い	☐	☐	☒	市民ニーズが高いため、必要が生じた事案より随時対応している。	
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☐	☐	☒		
	社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐		
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☐	☒	☐		
	国・府の事業と重複していない	☐	☐	☒		
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☐	☐	☒		
	緊急性が認められる	☐	☐	☒		
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☒	☐	☐	職員で対応できることは外部に発注せず、極力内部努力で対応している。	
	受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒		
	人員を削減する余地がない	☒	☐	☐		
	事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐		
	簡略化できる方法や手段がない	☒	☐	☐		
	市の他事業と重複していない	☒	☐	☐		
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☒	☐	☐		
有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	安全対策を充実させる必要がある。	
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐		
	成果を向上させる余地がない	☐	☒	☐		
	市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐		
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☒	☐	☐	保護者会等の意見を聞きながら実施している。	
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☒	☐	☐		
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☒	☐	☐		
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☐	☐	☒		
達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☒	財政的な問題等により、目標は達成されていない。	
	成果指標の実績値は目標値以上である	☐	☒	☐		
	成果指標は前年度より向上している	☐	☐	☒		

担当 部局 評価	総合評価
	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了
	評価の理由
	園の管理業務は必要不可欠
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)
年々、園舎等の修繕箇所等は増えており、年度毎で対応していく。	